奈良県のがん登録

２０１１（平成２３）年

平成２７年９月

奈良県医療政策部

は　じ　め　に

がんは、昭和 54（1979）年より本県の死亡原因の第 1 位であり、平成 25（2013）年の死亡数は 4,162 人と、総死亡数に占める割合は 33.7%となっています。人口の高齢化に伴って、がんによる死亡数は年々増加しており、がんは県民の生命と健康にとって重要な課題となっています。

本県では、平成 21（2009）年 11 月に策定した「奈良県がん対策推進計画」に引き続き、平成 25（2013）年 3 月には、「第 2 期奈良県がん対策推進計画」を策定し、「がんにならない、がんになっても安心できる奈良県」を基本理念に掲げ、総合的かつ計画的にがん対策を進めています。

県民の現状に即したがん対策を推進するためには、県民のがんの実態を把握することが不可欠であり、奈良県では、県内医療機関をはじめとする関係機関の皆様のご協力を得て、平成 23（2011）年度から奈良県地域がん登録事業を実施しています。

本書は、平成 23（2011）年の本県の地域がん登録のデータを集計したものです。本書が関係各方面の皆様方に幅広く活用され、がん対策の一助となれば幸いです。

平成 27 年 9 月

目　　次

Ⅰ　奈良県地域がん登録事業の概要
1　目的 1
2　概要 1
Ⅱ　最新がん統計
1　本報告書の集計について 2
2　罹患の状況 5
（1）罹患の概要 5
（2）年齢別に見たがんの罹患 6
（3）奈良県のがんの罹患の特徴 10
3　受療状況 11
（1）発見経緯 11
（2）病期 12
（3）初回治療の方法 13
4　死亡の状況 14
（1）死亡の概要 14
（2）年齢別に見たがんの死亡 14
（3）奈良県のがんの死亡の特徴 17
付表
・地域がん登録標準集計表目次 19
表 1-A　罹患数、罹患割合(%)、粗罹患率、年齢調整罹患率（人口 10 万対）及び累積罹患率（人口 100 対）：部位別、性別 20
表 1-B　〃（上皮内がんを含む） 21
表 2-A　年齢階級別罹患数、罹患割合（%）：部位別、性別 22
表 2-B　〃（上皮内がんを含む） 23
表 3-A　年齢階級別罹患率（人口 10 万対）：部位別、性別 24
表 3-B　〃（上皮内がんを含む） 25
表 4-A　発見経緯（%）：部位別 26
表 4-B　〃（上皮内がんを含む） 27
表 5-A　臨床進行度分布（%）：部位別 28
表 5-B　〃（上皮内がんを含む） 29
表 6-A　受療割合（%）：部位別 30
表 6-B　〃（上皮内がんを含む） 31
表 7-A　切除内容（%） 32
表 7-B　〃（上皮内がんを含む） 33
表 8-A　精度指標：部位別、性別 34
表 8-B　〃（上皮内がんを含む） 36
表 9　死亡数、死亡割合（%）、粗死亡率、年齢調整死亡率（人口 10 万対）及び累積死亡率（人口 100 対）：部位別、性別 38
表 10　年齢階級別死亡数、死亡割合（%）：部位別、性別 39
表 11　年齢階級別死亡率（人口 10 万対）：部位別、性別 40
付表 1　がん罹患数及び罹患率：詳細部位別、性別 41
付表 2　がん死亡数及び死亡率：詳細部位別、性別 43
付表 3-A　受療割合詳細（%）：部位別 45
付表 3-B　〃（上皮内がんを含む） 46
付表 4-A　医療圏別、保健所別罹患数：部位別、性別 47
付表 4-B　〃（上皮内がんを含む） 48
付表 5-A　市町村別罹患数：部位別、性別 49
付表 5-B　〃（上皮内がんを含む） 50

参考資料

・用語の定義 52
・人口統計と死亡統計 54
・悪性新生物の分類と病期分類 55
・罹患数の集計方法と登録精度指標 59
・事業報告 61
・奈良県地域がん登録関係要綱 64
・奈良県がん対策推進協議会・部会　委員名簿 80

Ⅰ　奈良県地域がん登録事業の概要

１　目的

奈良県地域がん登録事業は、奈良県内に住所を有する者を対象に、がん患者の発症、死亡及び医療状況の実態を把握することにより、がんの罹患率の測定、がん患者の受療状況、生存率の算出等を行い、本県におけるがん対策の推進と医療水準の向上に資するとともに、県民の健康増進に寄与することを目的としている。

２　概要

○実施主体及び運営主体

奈良県が実施主体である。

地域がん登録室（以下「登録室」という。）は、平成 24（2012）年１月から奈良県医療政策部保健予防課内に設置している。

○登録対象者

この事業の対象となる者は、奈良県内に住所を有する者であって、がんと診断された者及びがんにより死亡した者とする。

○情報収集

がんの診断、治療等に関する情報は、2009 年の罹患症例から奈良県内の医療機関より収集している。

県内の医療機関は、県が定めた届出票に必要事項を記載し、登録室に提出する。なお、がん診療連携拠点病院等、院内がん登録を実施している医療機関は、院内がん登録のデータを地域がん登録用に出力した届出票及び磁気媒体を登録室に提出する。

地域がん登録事業の精度の向上を図るために必要な場合は、医療機関の承認を得た上で出張採録を行うことができる。（注）

がんによる死亡情報は、厚生労働大臣に人口動態調査に係る調査票情報の提供について申出を行い、保健所から収集している。県内の保健所は、人口動態調査死亡小票を転写したものを登録室に提供する。

がんによる死亡で、県への届出がない症例については、死亡診断をした医療機関に対し、遡り調査（届出を促す調査）を実施し、結果を登録する。

がんと診断された年から５年が経過した時点において、死亡情報を把握していない症例については、生存確認調査を実施する。

届出票の主な収集項目は、個人識別情報（漢字姓名、生年月日、性別、住所）、腫瘍情報（診断日、原発部位、病理組織型、病期等）、治療情報（治療方法、転帰、死亡日）である。

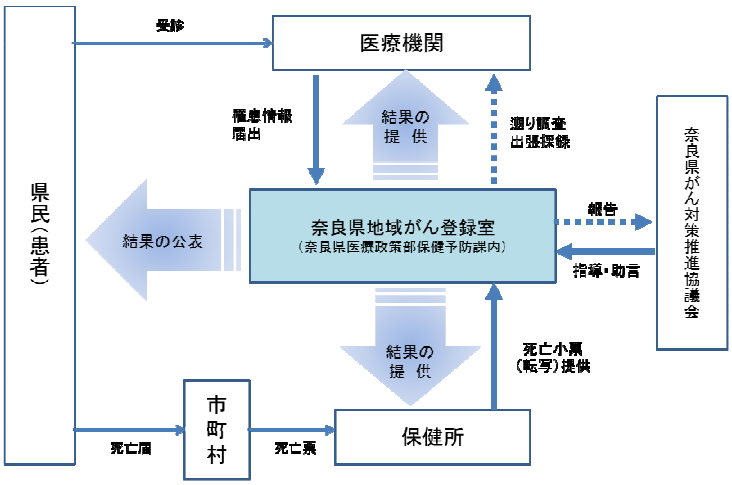
（注）2011 年データにおいては、出張採録は行っていない。

○登録・集計

収集した情報は、独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センターが提供する「地域がん登録標準データベースシステム」により、登録室において入力して登録する。なお、県外の医療機関から提供があった情報についても同システムにより入力している。

登録情報は暦年単位で集計し、その結果をとりまとめ、公表する。

図１　奈良県地域がん登録の概要図



Ⅱ　最新がん統計

１　本報告書の集計について

○集計期間

罹患年月日が 2011（平成 23）年１月１日から 2011（平成 23）年 12 月 31 日までの１年間

○集計時期

2014（平成 26）年９月１日現在

○集計対象

①ICD-O-3 分類の性状「２」（上皮内）、「３」（悪性、浸潤性）で示される新生物

②DCO 例については、上記①に加えて、ICD-O-3 分類の性状「１」（良性・悪性の別不詳：例　悪性の明示のない○○腫瘍）で示される新生物による死亡のうち、部位が脳、肝、膵、腎、膀胱、肺であるもの

○罹患年月日の決め方

①届出による登録例は初めて当該がんと診断された年月日を罹患年月日とする。

②届出がなく、死亡小票（転写）によってがん罹患が判明した例は、死亡年月日をもって罹患年月日とする

○集計状況

医療機関から収集し、集計を行った届出票の数は、2011（平成 23）年は 10,025 件であった。（表１）

表１　地域がん登録　集計件数

区分	2009年		2010年		2011年	
	施設数	集計件数	施設数	集計件数	施設数	集計件数
がん診療連携拠点病院･支援病院	6	6,493	6	6,408	6	7,191
上記以外の病院、医院、診療所	27	1,236	41	1,423	63	2,450
他都道府県地域がん登録事業よりの転送*	-	162	-	193	-	384
合計	33	7,891	47	8,024	69	10,025

＊奈良県内在住で他の都道府県の医療機関を受診

○本報告書の精度指標

がん患者数と登録罹患数、精度指標及びその関係を表２及び図２に示した。

図３に部位別の DCN（死亡情報で初めて把握された症例）の割合（%）、国内 DCO（死亡情報のみの症例）の割合（%）、I/M 比（罹患/死亡比）を、図４に部位別の MV（病理学的裏付けのある症例）（%）を示した。なお、2011（平成 23）年は、遡り調査を実施した。

表２　がん患者数と登録罹患数、精度指標

	罹患年		
	2009	2010	2011
罹患数（上皮内がんを除く）	9,284	9,289	9,498
罹患数（上皮内がんを含む）	9,704	9,807	10,086
がん死亡数	3,745	4,046	4,061
DCN（%）	37.1	30.8	23.0
DCO（%）	37.1	30.8	13.6
I/M比	2.48	2.30	2.34
MV（%）	60.3	64.8	75.8

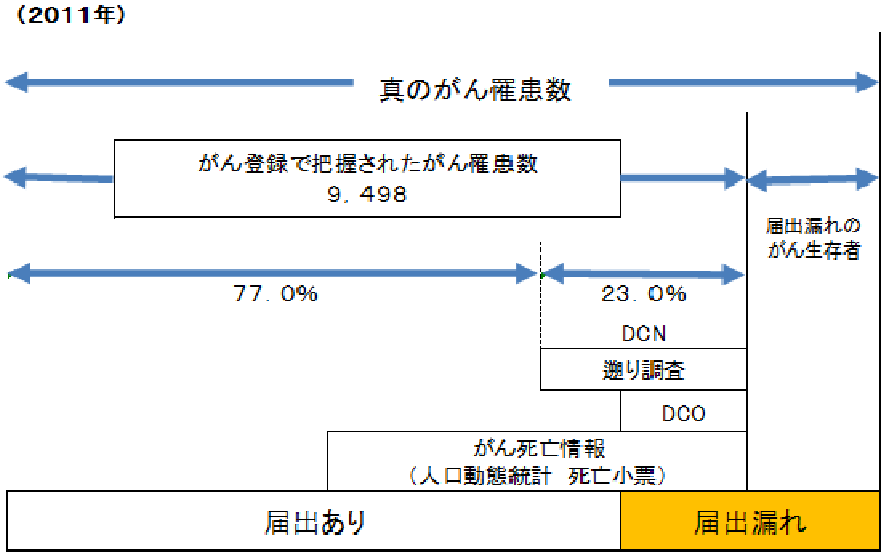
（参考）
「上皮内がん」とは、上皮細胞と間質細胞（組織）を隔てる膜（基底膜）を破って浸潤していない腫瘍（癌）のことをいいます。

注）上皮内がんを除く罹患数で DCN 等を計算

○調査対象の人口

2011（平成 23）年の人口は 1,394,545 人（男性 659,490 人、女性 735,055 人）である。（詳細については P54 を参照）

図２　がん患者数と登録罹患数の関係

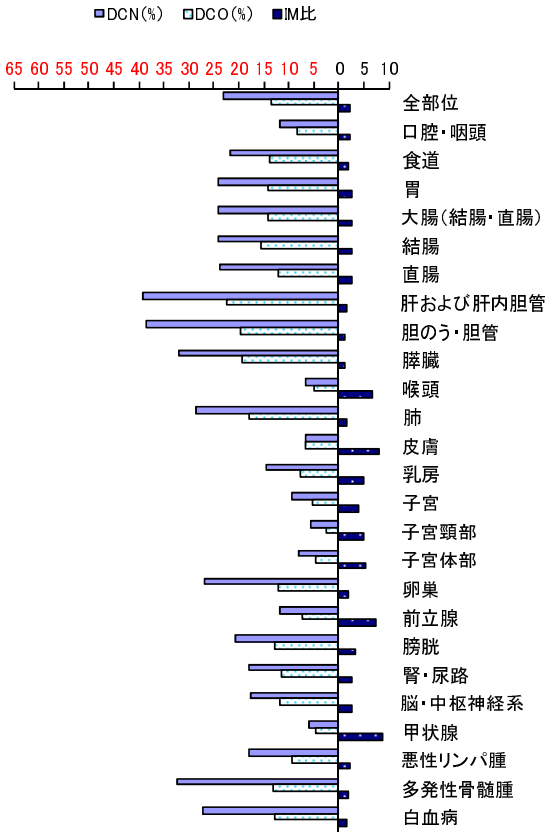


注）集計方法や登録精度指標等については、Ｐ55～60 を参照

図３　部位別登録精度　DCN・DCO の割合、IM 比（表 8-A から作成）

（2011年）

部位	DCN(%)	DCO(%)	IM比
全部位	23.0	13.6	2.3
口腔・咽頭	11.6	8.3	2.3
食道	21.6	13.8	2.0
胃	23.9	14.2	2.5
大腸（結腸・直腸）	23.9	14.2	2.6
結腸	23.9	15.3	2.5
直腸	23.8	12.1	2.8
肝および肝内胆管	39.2	22.3	1.8
胆のう・胆管	38.5	19.5	1.4
膵臓	31.8	19.4	1.3
喉頭	6.6	4.9	6.8
肺	28.4	17.7	1.6
皮膚	6.5	6.5	8.2
乳房	14.5	7.5	4.9
子宮	9.4	5.2	4.2
子宮頸部	5.7	2.4	4.9
子宮体部	8.1	4.4	5.4
卵巣	26.7	12.1	1.8
前立腺	11.9	7.5	7.5
膀胱	20.6	12.9	3.4
腎・尿路	18.1	11.3	2.7
脳・中枢神経系	17.6	11.8	2.7
甲状腺	6.0	4.7	8.8
悪性リンパ腫	18.0	9.5	2.5
多発性骨髄腫	32.1	13.1	1.8
白血病	27.1	12.8	1.7

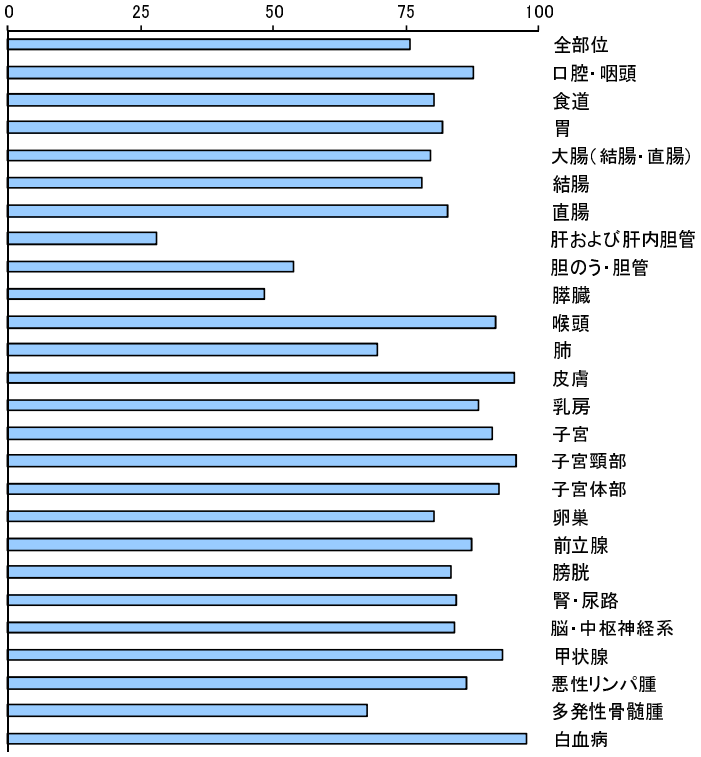


注）上皮内がんを除く

図４　部位別　ＭＶの割合（表 8-A から作成）

（2011年）

部位	MV%
全部位	75.8
口腔・咽頭	87.8
食道	80.2
胃	81.9
大腸（結腸・直腸）	79.8
結腸	78.2
直腸	82.8
肝および肝内胆管	27.9
胆のう・胆管	53.7
膵臓	48.3
喉頭	91.8
肺	69.7
皮膚	95.5
乳房	88.8
子宮	91.4
子宮頸部	95.9
子宮体部	92.6
卵巣	80.2
前立腺	87.4
膀胱	83.5
腎・尿路	84.5
脳・中枢神経系	84.3
甲状腺	93.3
悪性リンパ腫	86.4
多発性骨髄腫	67.9
白血病	97.7



注）上皮内がんを除く

2　罹患の状況

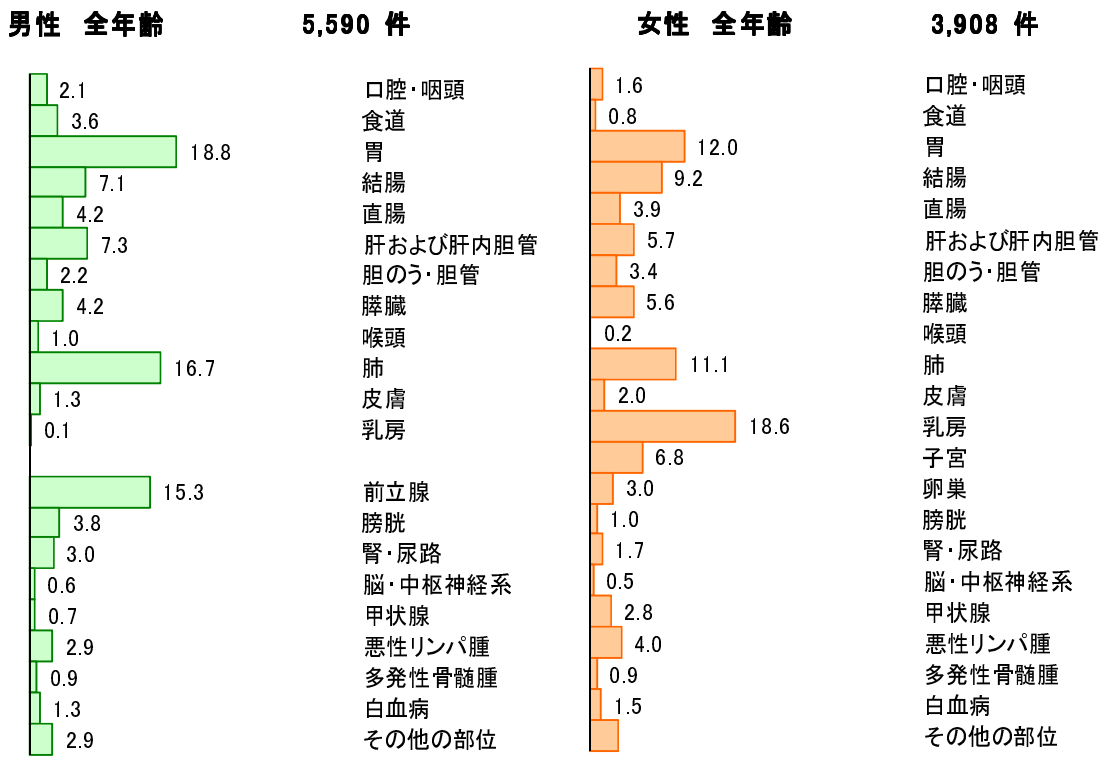
（１）罹患の概要

県内に住所を有する者について、新たに診断されたがん（上皮内がんを除く）は、男性延べ 5,590 件、女性延べ 3,908 件、合計延べ 9,498 件であった。

男性の罹患について、最も多いがんは胃がん（18.8%）であり、次いで肺がん（16.7%）、前立腺がん（15.3%）となっている。

女性の罹患について、最も多いがんは乳がん（18.6%）であり、次いで胃がん（12.0%）、肺がん（11.1%）となっている。（図５）

図５　部位内訳（%）（表 1-A から作成）



注）上皮内がんを除く

留意事項

今回集計データでは、罹患数について 13.6%が死亡情報のみで把握されたものである。このため、罹患数の解釈に当たっては、①生存率の低い部位の罹患数・率は実際より高く見積もっている可能性があること、②生存率の高い部位の罹患数・率は実際より低く見積もっている可能性があること、に留意する必要がある。

（２）年齢別に見たがんの罹患

新たに診断されたがん（上皮内がんを除く）について年齢別にみると、男性では全体の約 3/4、女性では全体の約 2/3 が 65 歳以上である。また、40～64 歳の年齢層についてみると、男性では全体の約 1/5、女性では全体の約 1/4 を占めていた。（図６）

総数では、男性の方が女性よりも多いが、女性の 15～39 歳のがんが男性よりも多いのは、この年齢層の子宮頸がんと乳がんが多いためである。（図７）

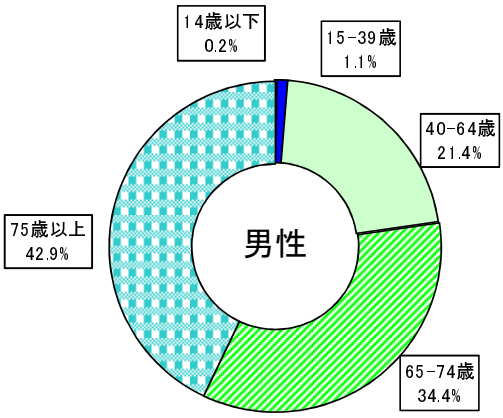
主な部位別の年齢階級別罹患率では、ほとんどの部位において、年齢が高くなるほど罹患率が高くなっている。但し、女性の乳がんは、30 歳以上から増え始め、45～49 歳で罹患率が最も高くなっている。子宮頸がんは 20 代前半から 40 代前半にかけて罹患率の上昇がみられ、その後はほぼ横ばいで推移している。子宮体がんは、40 歳以上から多くなり、50～54 歳で最も多くなっている。（図８）

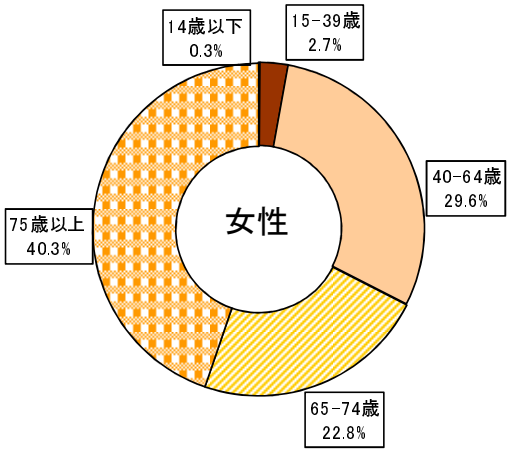
図６　年齢階級別内訳（%）　（表 1-A から作成）

（2011年）

年齢階級	男性
14歳以下	13
15-39歳	59
40-64歳	1,197
65-74歳	1,924
75歳以上	2,396
不明	1
合計	5,590

女性	年齢階級
6	14歳以下
106	15-39歳
1,158	40-64歳
889	65-74歳
1,748	75歳以上
1	不明
3,908	合計

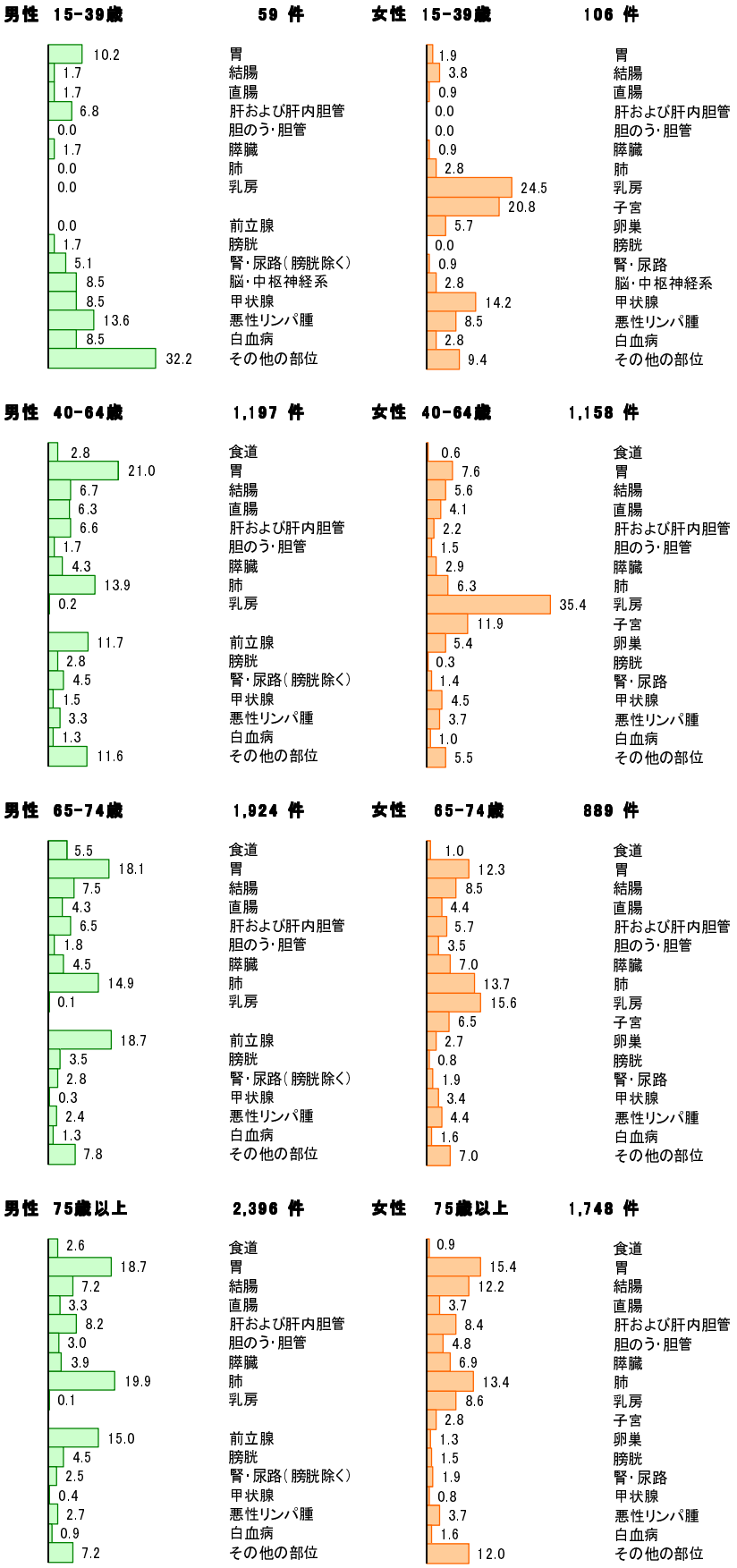




注）上皮内がんを除く

図７　年齢別部位内訳（%）　（表 2-A から作成）

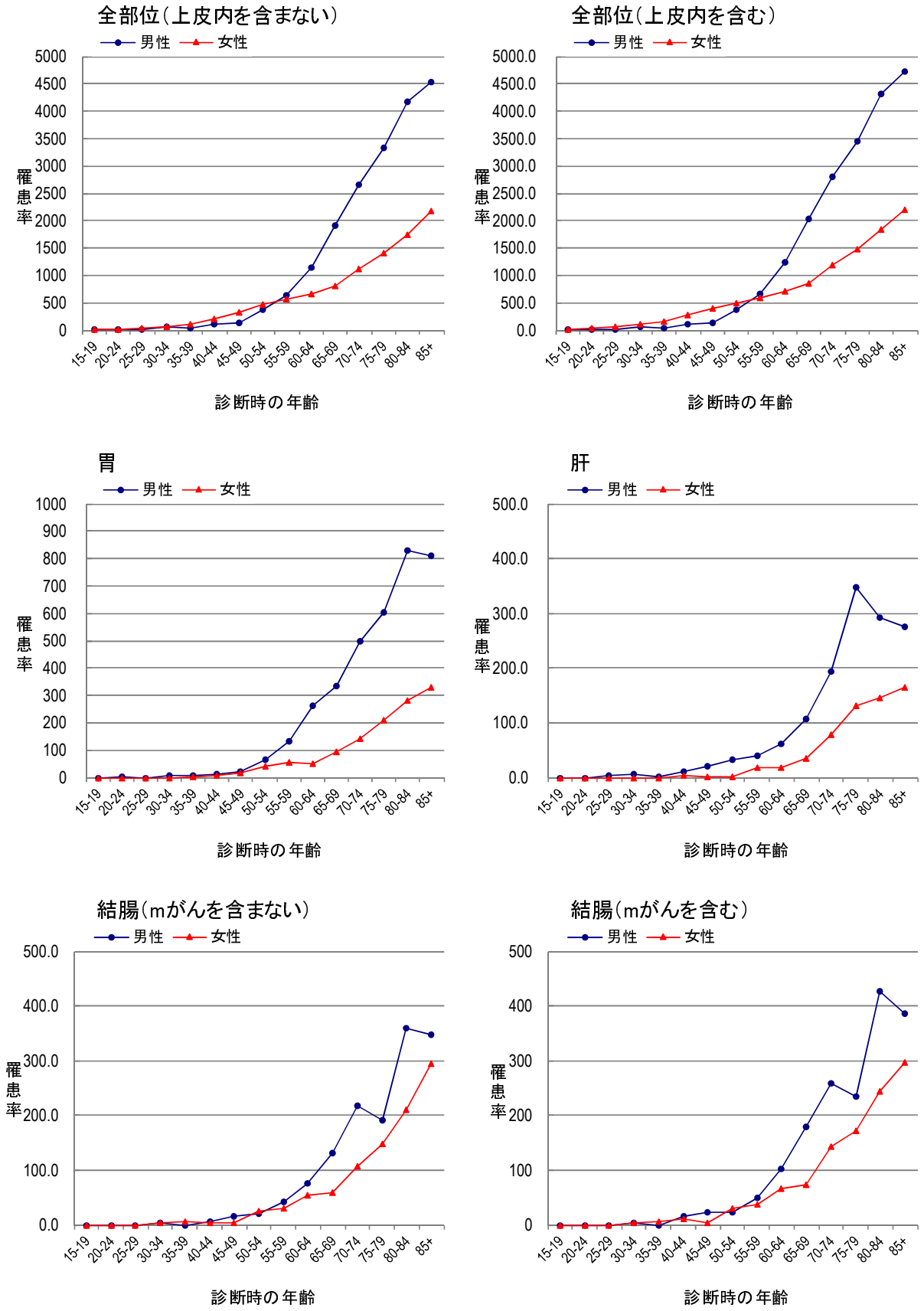
（2011年）

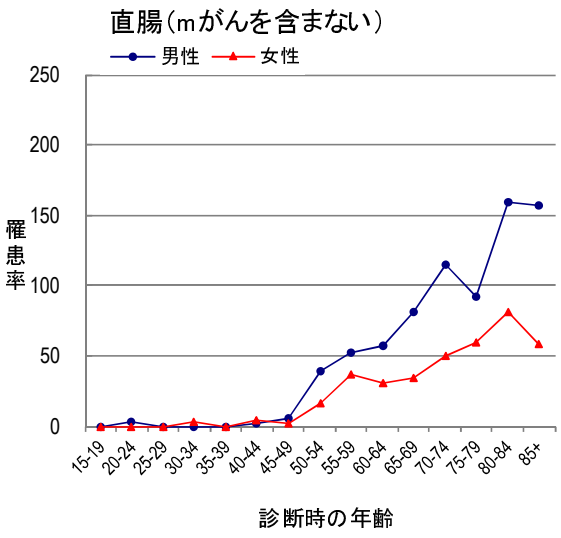


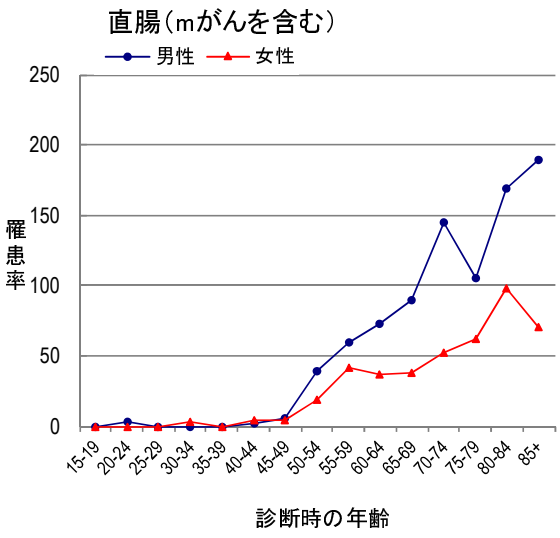
注）上皮内がんを除く

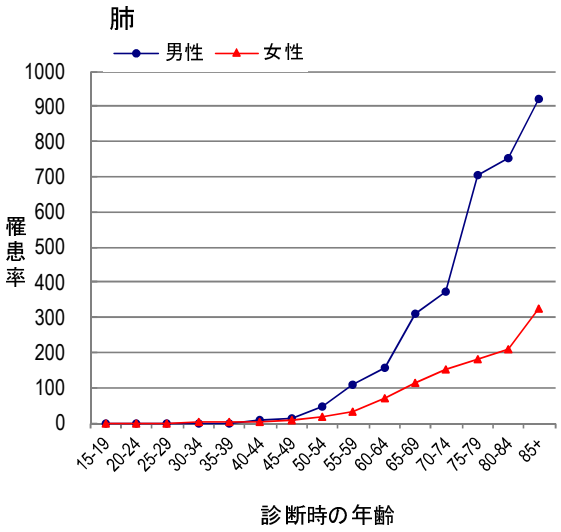
図８　部位別年齢階級別罹患率：人口 10 万対　（表 3-A、B から作成）

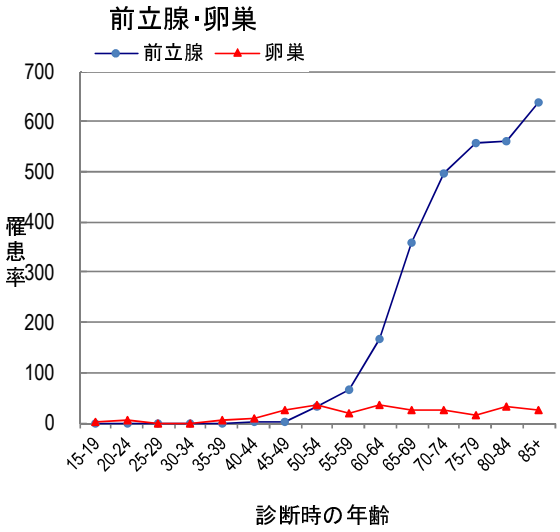
（2011年）

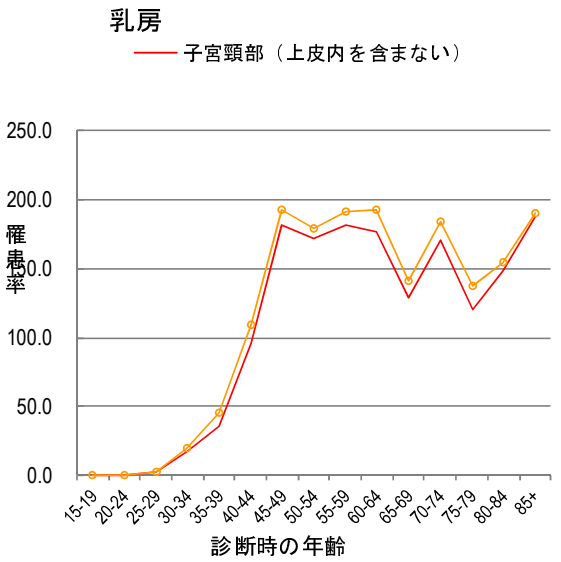


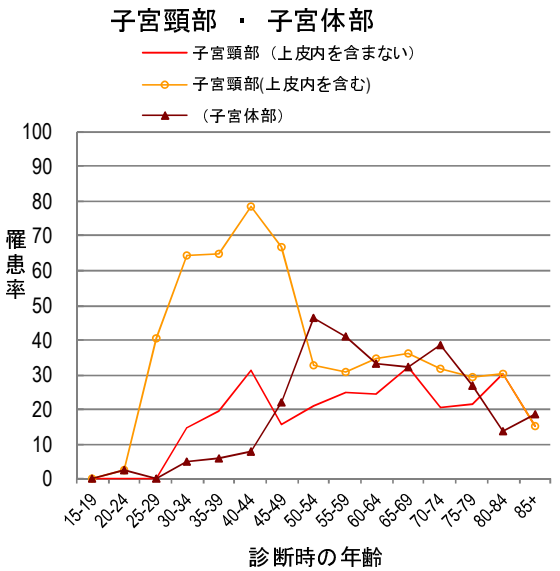










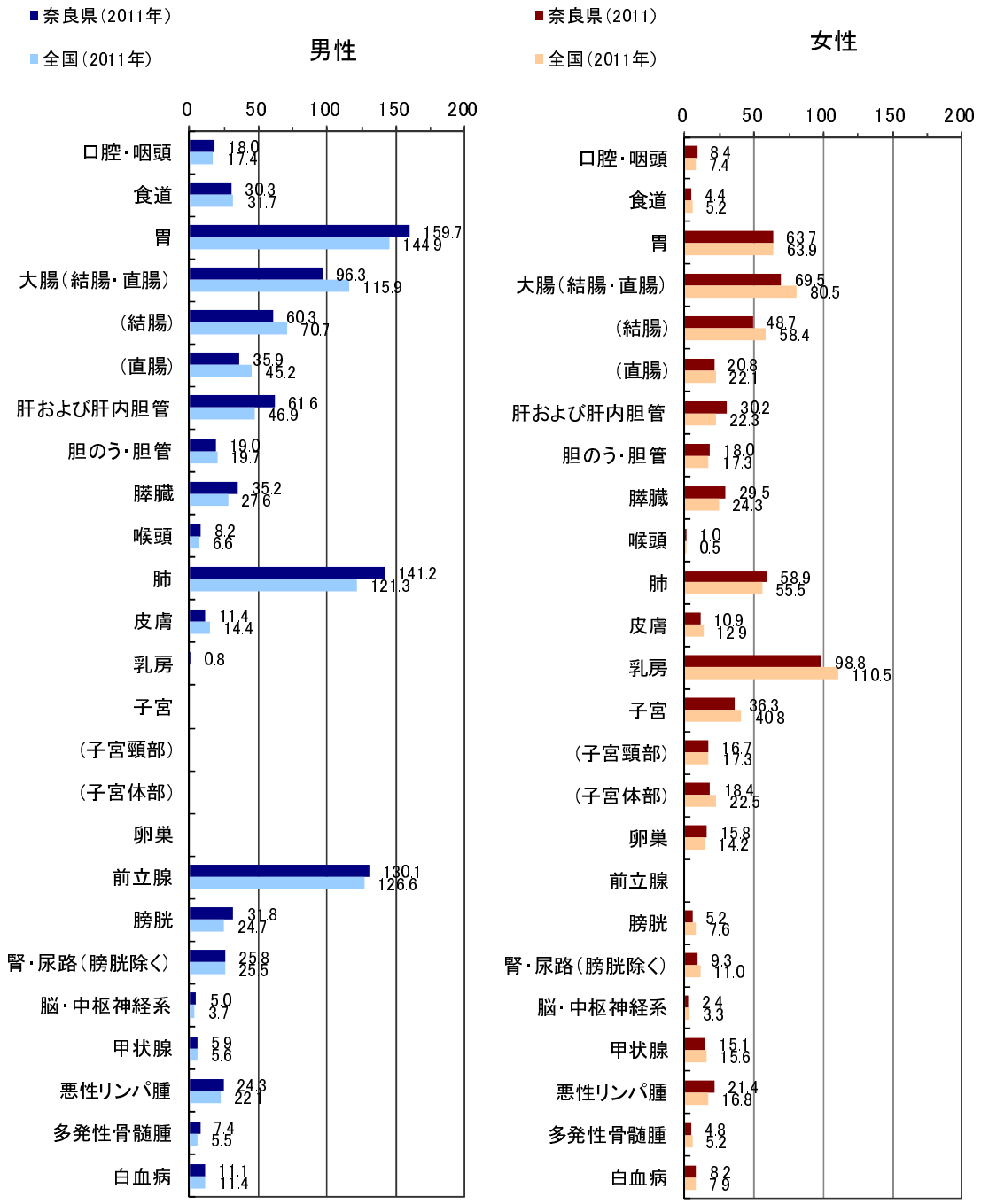


注）mがんについて：我が国の地域がん登録では、大腸（結腸及び直腸）の粘膜内がん（mがん）は上皮がんとして扱う。

（３）奈良県のがんの罹患の特徴

本県の 2011 年の罹患率と 2011 年の全国の罹患率の推計値とを比較したところ、全国推計値とほぼ同じような傾向にあるが、全国推計値と比較して本県の方が罹患率が低い部位の中で、差が最も大きいのは、男性では、大腸がんであり、女性では、乳がん、大腸がんであった。また、反対に、全国推計値と比較して本県の方が罹患率が高い部位の中で、差が最も大きいのは、男性では、胃がん、肺がんであり、女性では、肺がん、肝および肝内胆管であった。（図９）

（2011年）　図９　部位別がん粗罹患率：人口 10 万対　（表１-A から作成）



注）上皮内がんを除く

注）全国の値は、独立行政法人　国立がん研究センターがん対策情報センター発行「全国がん罹患モニタリング集計 2011 年罹患数・率報告」より引用

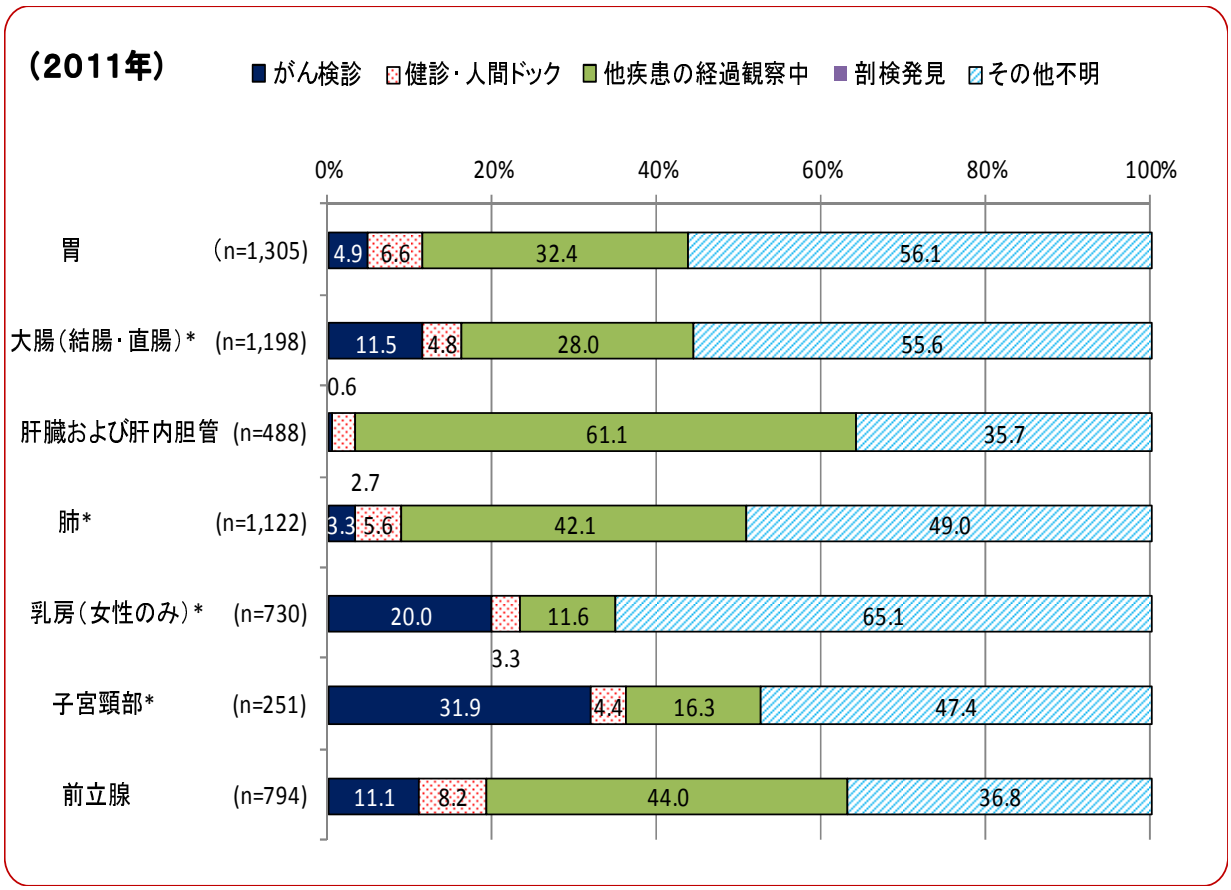
３　受療状況

（１）発見経緯

一般に住民検診が実施されている胃、大腸、肺、乳房、子宮頸部において、「がん検診」もしくは「健康診断や人間ドック」が発見の契機となった症例の割合は、胃 11.5%、大腸　16.3%、肺　8.9%、乳房　23.3%、子宮頸部　36.3%であった。

「その他不明」には、何らかの自覚症状等により医療機関を受診した際の発見が含まれていることから、その割合が多いと推察される。（図１０）

図１０　部位別発見経緯（%）：対象は国内 DCO を除く届出患者（表４-A、Ｂから作成）

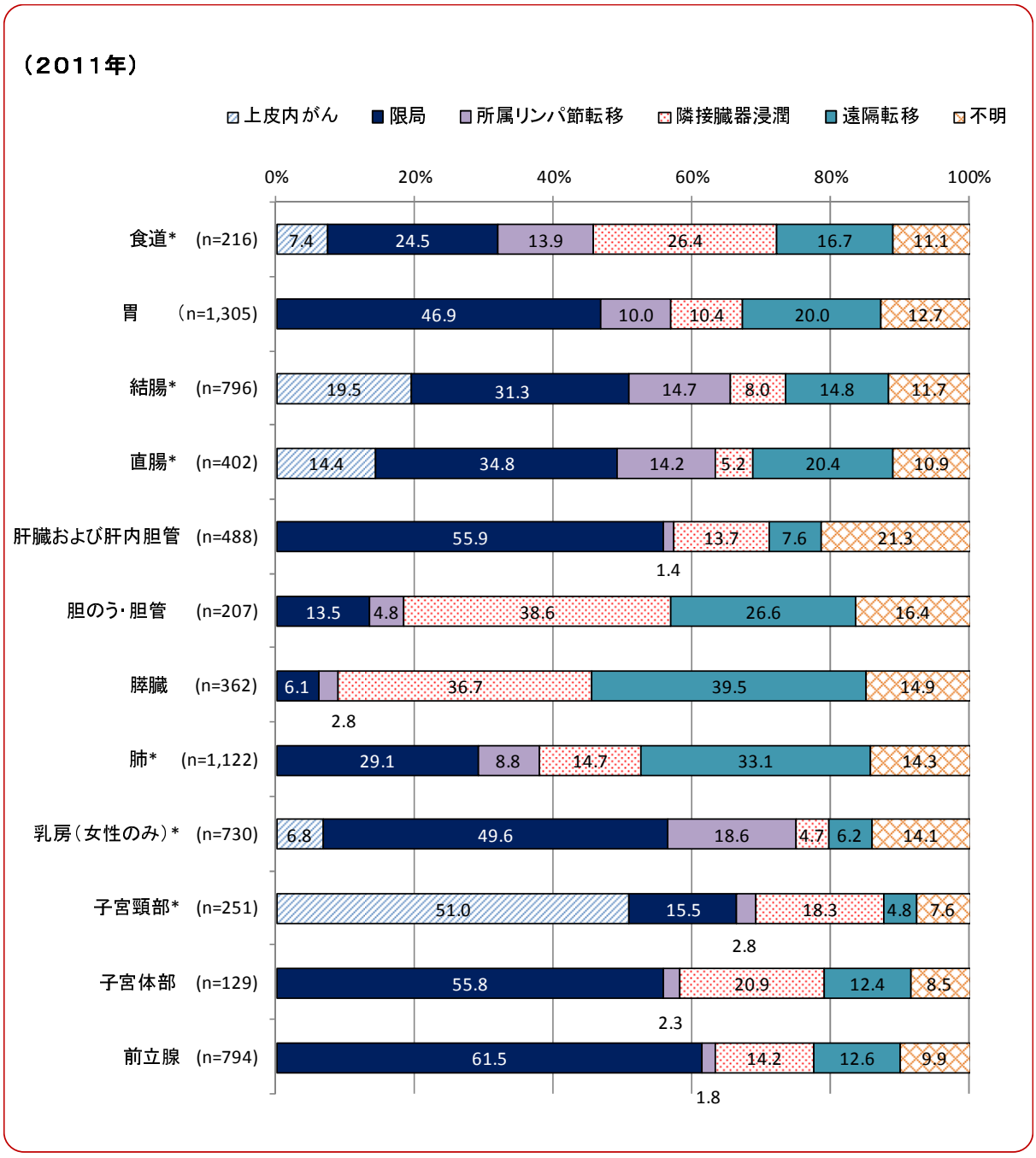


＊上皮内がんを含む

（２）病期

胃、結腸、直腸、乳房、子宮、前立腺など、一般的にがん検診が実施されている部位においては、発見時の病期が「上皮内がん」及び「限局」の割合が高い。肺は、がん検診が実施されている部位ではあるが、「遠隔転移」の割合が高い。胆のう・胆管、膵臓のように腫瘍が比較的大きくなるまで自覚症状の出にくい部位では、「遠隔転移」の割合が高い。（図１１）

図１１　部位別発見時の病期（%）：対象は国内 DCO を除く届出患者（表５－Ａ、Ｂから作成）

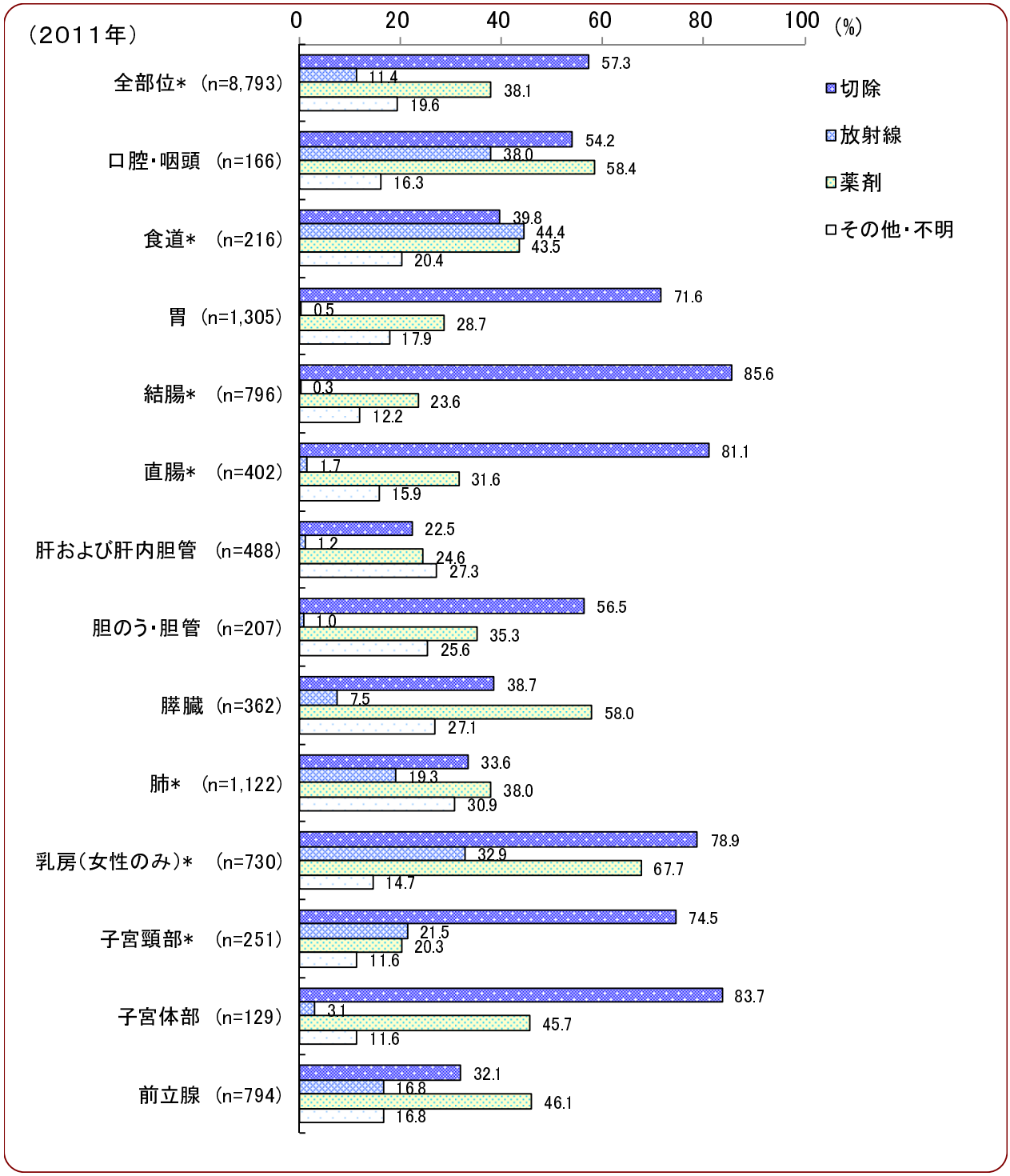


＊：上皮内がんを含む。
胃の限局には、m がんを含む。
結腸・直腸の上皮内は、m がんまでを指す。
子宮頸部の上皮内は、CIN3 を含む。

（３）初回治療の方法

初回治療の状況について、複数回答であるため、外科的療法、放射線療法、化学・免疫・内分泌療法を組み合わせて行われていることが考えられるが、胃、結腸、直腸などの消化管、乳房、子宮頸部、子宮体部では、外科的治療の割合が高い。口腔・咽頭、食道では放射線療法が、口腔・咽頭、食道、膵臓、肺、乳房、子宮頸部では化学療法が多く行われている。（図１２）

図１２　初回治療の方法（%）：対象は国内 DCO を除く届出患者　（表６－Ａ、Ｂから作成）



＊：上皮内がんを含む

切除には、外科的、体腔鏡的、内視鏡的手術を含む。

薬剤には、化学療法、免疫療法、内分泌療法を含む。

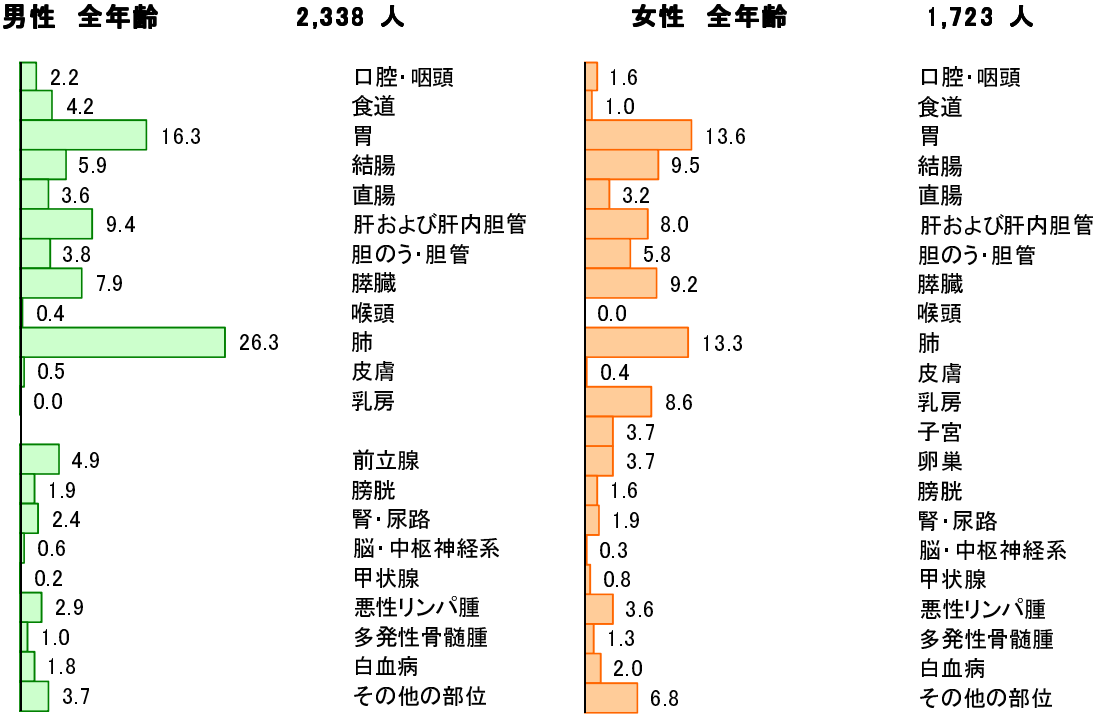
４　死亡の状況

（１）死亡の概要

奈良県においてがんを原因とした死亡数は、4,061 人であった。

部位別では、男性では、肺（26.3%）が一番多く、胃（16.3%）、肝及び肝内胆管（9.4%）の順であった。女性では、胃（13.6%）、肺（13.3%）、結腸（9.5%）、膵臓（9.2%）の順であった。（図１３）

（2011年）　　図１３　部位内訳（%）　（表 9 から作成）



（２）年齢別に見たがんの死亡

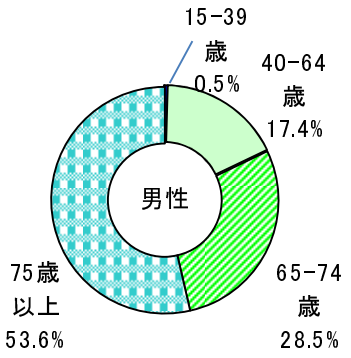
がんで死亡された方について、年齢別にみると、男性、女性とも約８割が 65 歳以上であった。（図１４）

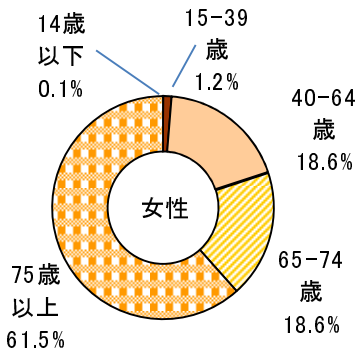
主な部位別の年齢階級別死亡率では、ほとんどの部位において、年齢が高くなると罹患しやすくなるため、年齢とともにがんによる死亡率も高くなっている。（図１５）

図１４　年齢階級別内訳（%）　（表 10 から作成）

（2011年）

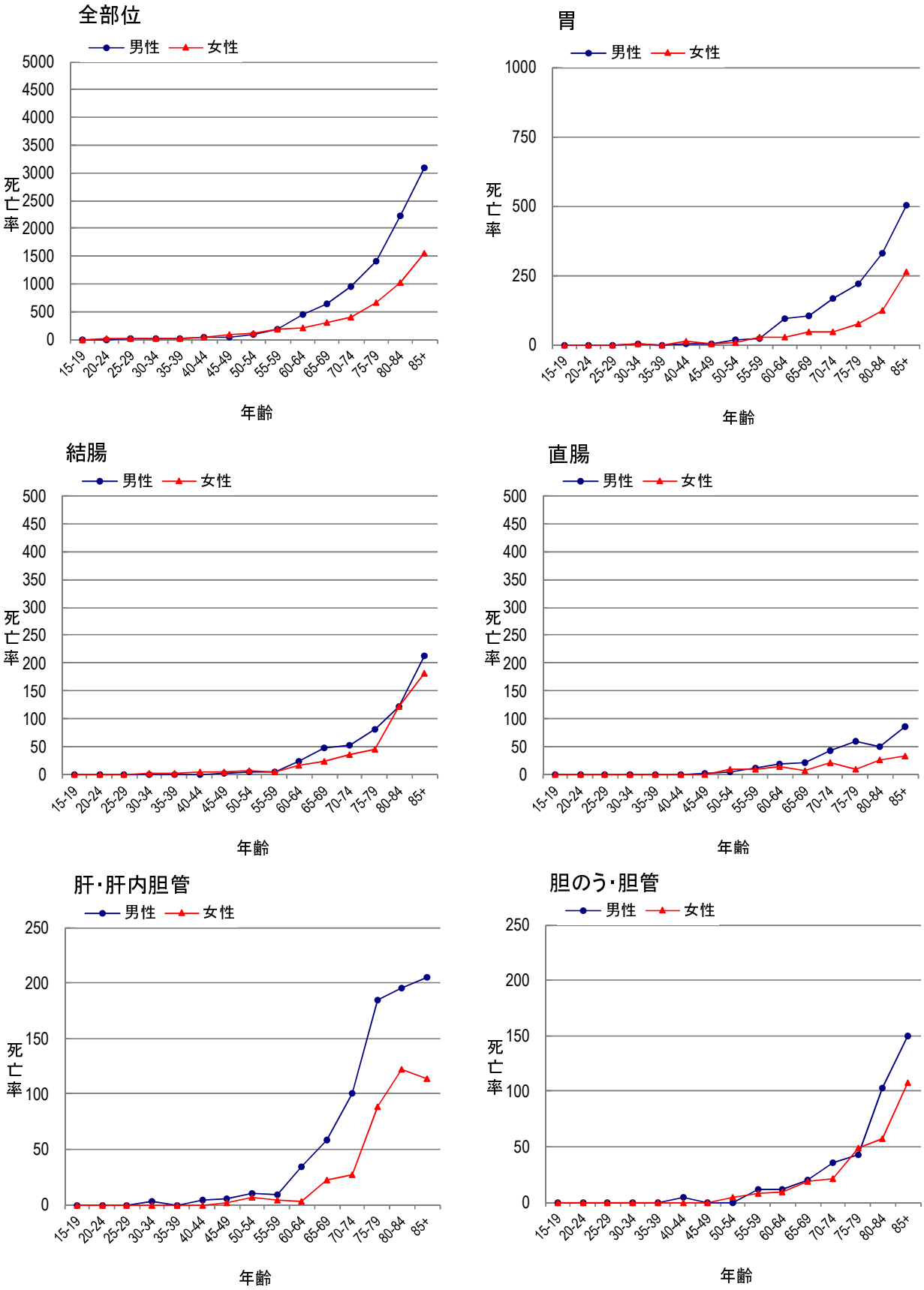
年齢階級	男性
14歳以下	1
15-39歳	11
40-64歳	407
65-74歳	666
75歳以上	1,253
合計	2,338

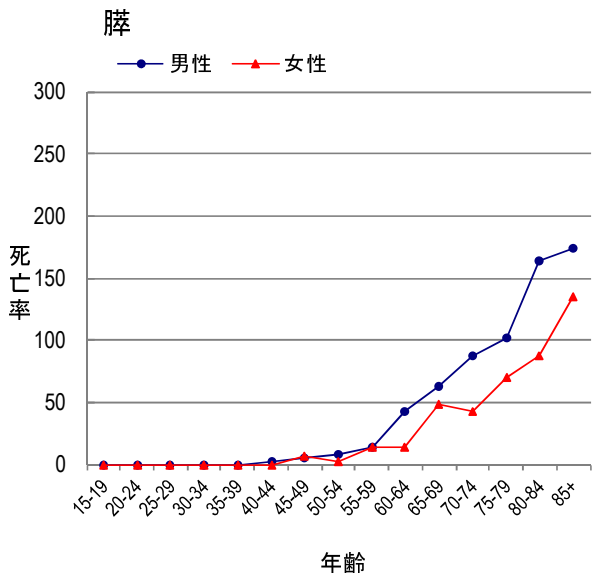


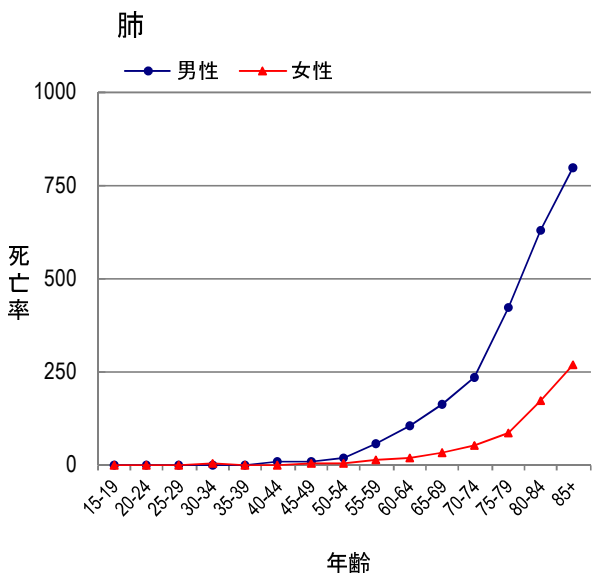


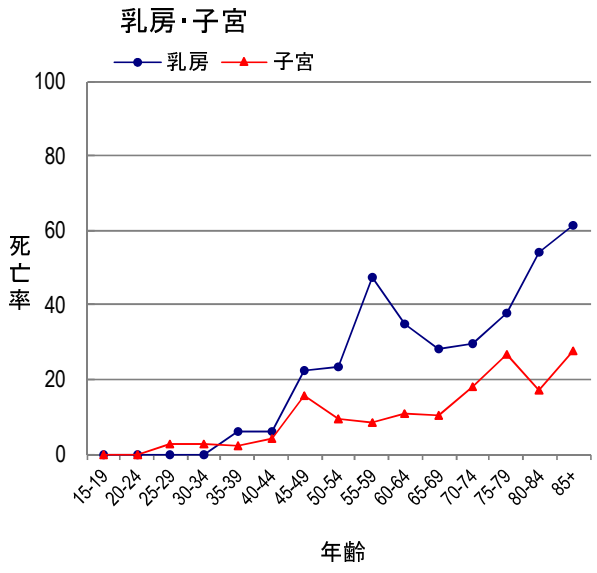
女性	年齢階級
2	14歳以下
21	15-39歳
320	40-64歳
321	65-74歳
1,059	75歳以上
1,723	合計

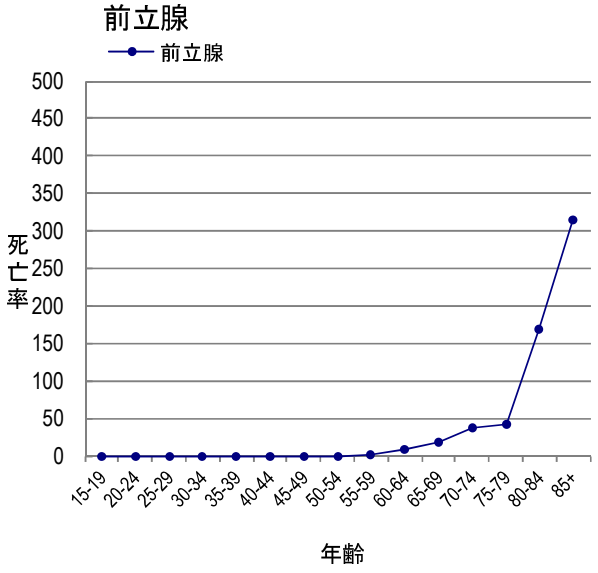
図１５　部位別年齢階級別死亡率：人口 10 万対　（表 11 から作成）




膵
男性
女性
300
250
200
150
100
50
0
死亡率
15-19
20-24
25-29
30-34
35-39
40-44
45-49
50-54
55-59
60-64
65-69
70-74
75-79
80-84
85+
年齢


肺
男性
女性
1000
750
500
250
0
死亡率
15-19
20-24
25-29
30-34
35-39
40-44
45-49
50-54
55-59
60-64
65-69
70-74
75-79
80-84
85+
年齢


乳房・子宮
乳房
子宮
100
80
60
40
20
0
死亡率
15-19
20-24
25-29
30-34
35-39
40-44
45-49
50-54
55-59
60-64
65-69
70-74
75-79
80-84
85+
年齢


前立腺
前立腺
500
450
400
350
300
250
200
150
100
50
0
死亡率
15-19
20-24
25-29
30-34
35-39
40-44
45-49
50-54
55-59
60-64
65-69
70-74
75-79
80-84
85+
年齢

（３）奈良県のがんの死亡の特徴

全国値と比較して本県の方が死亡率が高い部位の中で、差が最も大きいのは、男性では、肺がんであり、女性では、胃がんであった。また、反対に、全国値と比較して本県の方が死亡率が低い部位の中で、差が最も大きいのは、男性、女性ともに、大腸がんであった。（図１６）

なお、年齢調整死亡率については、全国値とほぼ同じ傾向にある。（図１７）

図１６　部位別がん粗死亡率：人口 10 万対　（表 9 から作成）

（2011年）

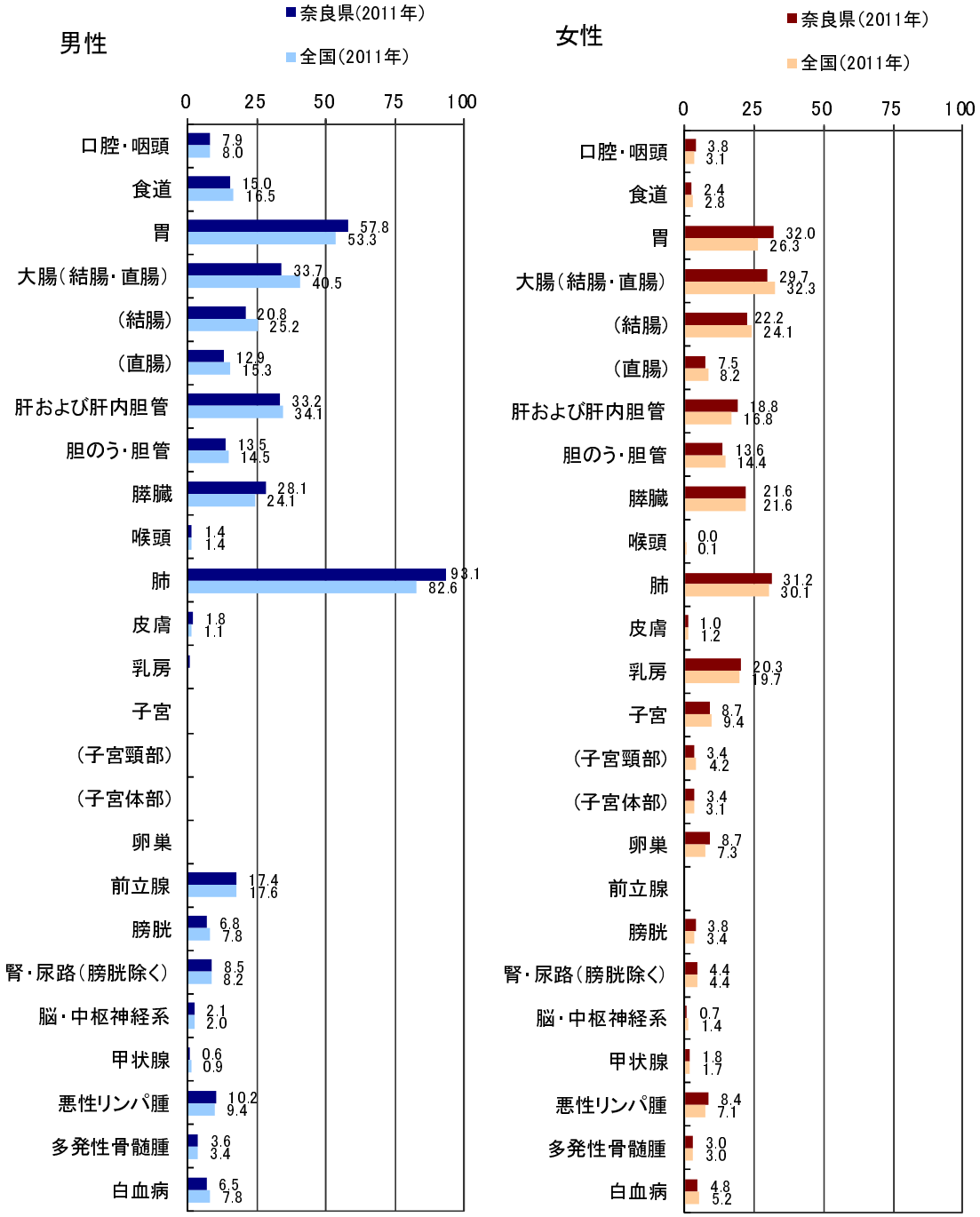
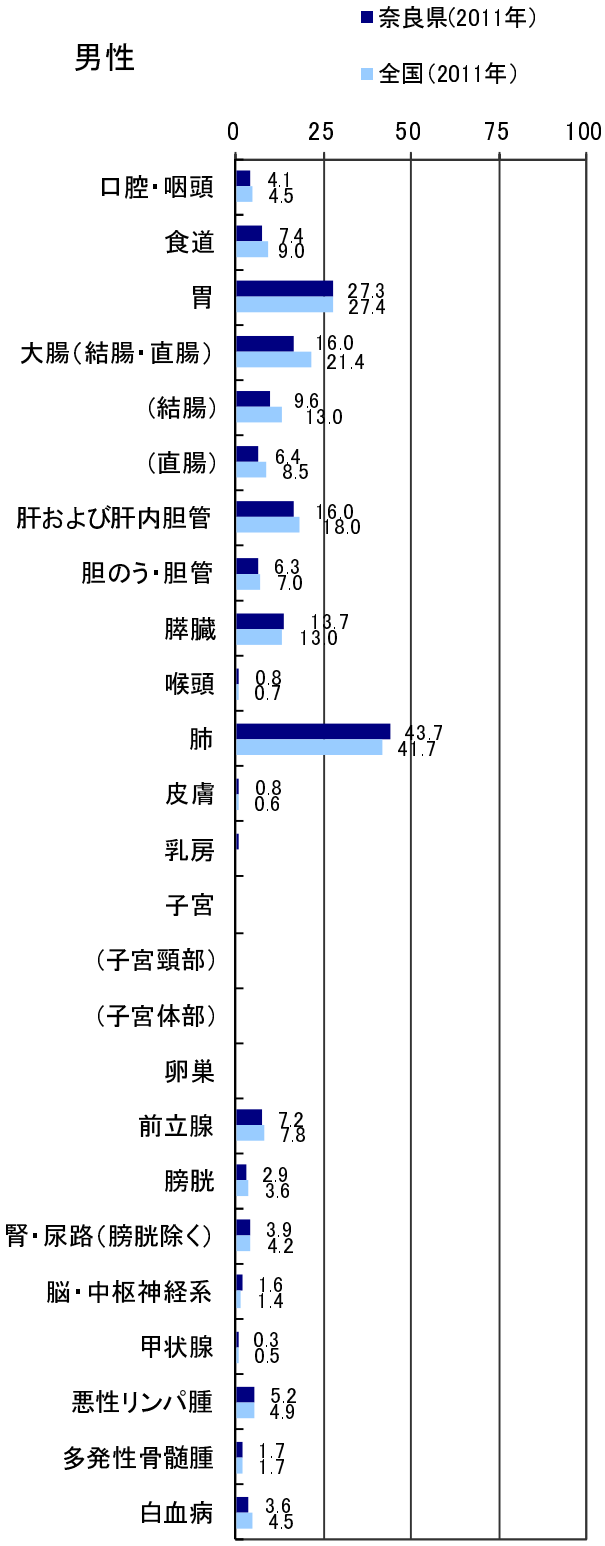
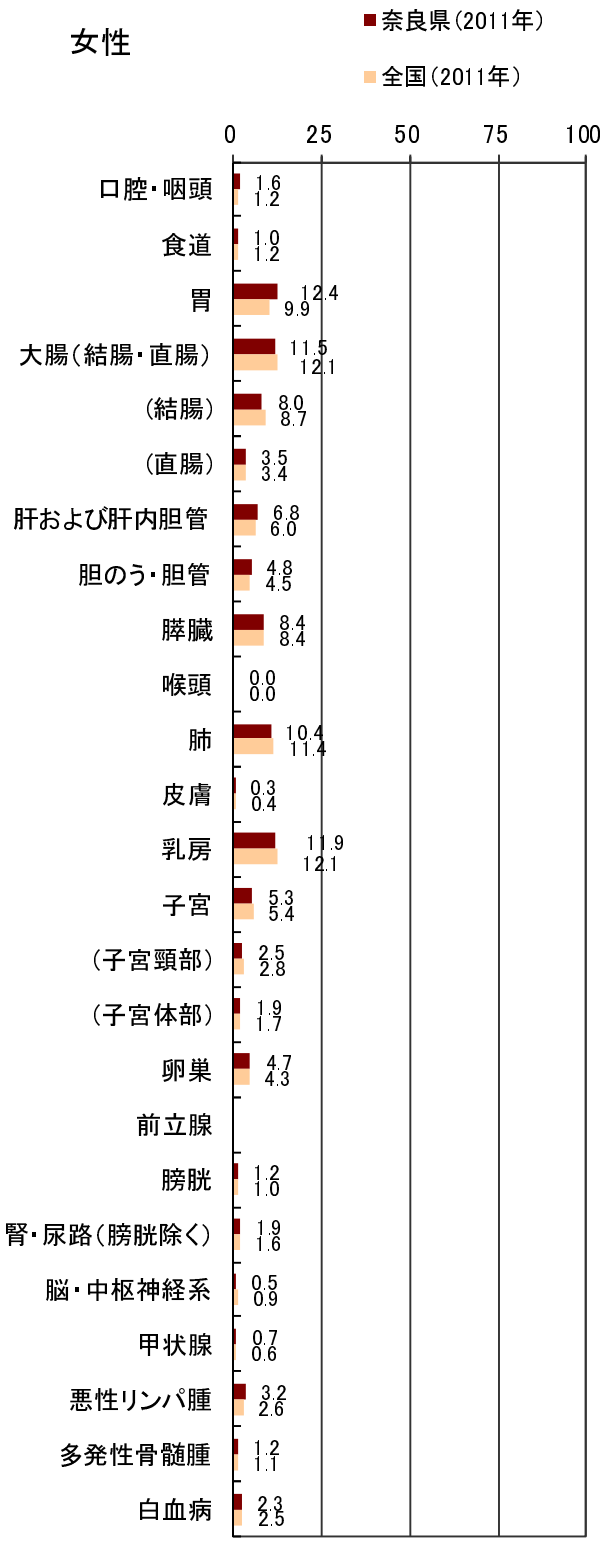


図１７　部位別がん年齢調整死亡率：人口 10 万対　（表 9 から作成）

（2011年）





付　　表

地域がん登録標準集計表目次

表 1-A　罹患数、罹患割合(%)、粗罹患率、年齢調整罹患率（人口 10 万対）及び累積罹患率（人口 100 対）：部位別、性別
表 1-B　〃（上皮内がんを含む）
表 2-A　年齢階級別罹患数、罹患割合（%）：部位別、性別
表 2-B　〃（上皮内がんを含む）
表 3-A　年齢階級別罹患率（人口 10 万対）：部位別、性別
表 3-B　〃（上皮内がんを含む）
表 4-A　発見経緯（%）：部位別
表 4-B　〃（上皮内がんを含む）
表 5-A　臨床進行度分布（%）：部位別
表 5-B　〃（上皮内がんを含む）
表 6-A　受療割合（%）：部位別
表 6-B　〃（上皮内がんを含む）
表 7-A　切除内容（%）
表 7-B　〃（上皮内がんを含む）
表 8-A　精度指標：部位別、性別
表 8-B　〃（上皮内がんを含む）
表 9　死亡数、死亡割合（%）、粗死亡率、年齢調整死亡率（人口 10 万対）及び累積死亡率（人口 100 対）：部位別、性別
表 10　年齢階級別死亡数、死亡割合（%）：部位別、性別
表 11　年齢階級別死亡率（人口 10 万対）：部位別、性別

付表 1　がん罹患数及び罹患率：詳細部位別、性別
付表 2　がん死亡数及び死亡率：詳細部位別、性別
付表 3-A　受療割合詳細（%）：部位別
付表 3-B　〃（上皮内がんを含む）
付表 4-A　医療圏別、保健所別罹患数：部位別、性別
付表 4-B　〃（上皮内がんを含む）
付表 5-A　市町村別罹患数：部位別、性別
付表 5-B　〃（上皮内がんを含む）